

見てわかる “生活文化テキスト” 1

全国民謡の踊り方



家の光協会

¥ 50

ビクター電蓄で



他に持運びに便利なポータブル電蓄
P E-7 型 ¥14,900 よりコンソール
型 ¥265,000 まで各種あります。

ビクターレコード

はしがき

[illegible]

東京都新宿区市ヶ谷船河原町11
奥原 潔
東京都新宿区市ヶ谷加賀町1の12
大日本印刷株式会社
東京都新宿区市ヶ谷船河原町11
社団法人家の光協会

佐渡おけさ

新潟県



この唄は、北九州地方で歌われていたハンヤ節が、いつの時代にか越後に渡ってきて、おけさ節になったものといわれています。同じ佐渡でも、その土地によって、節がまちまちでしたが、大正十三年、佐渡相川町の青年たちがつくっている立浪会で、節の統一をはかりました。

来いというたとして
行かりよか佐渡へ
佐渡は四十九里
波の上

雪の新潟
吹雪に暮れて
佐渡は寝たかや
灯が見えぬ

アリヤアリヤアリヤサ
住みよいか
佐渡は居よいか
佐渡へ佐渡へと
草木もなびくヨ
アリヤアリヤアリヤサ
(以下囃子略)

佐渡の相川
羽田の浜で
女浪男浪が
打ちよせる

佐渡と越後は
竿さしや届く
船をかけた
船橋を

佐渡おけさ

編集 家の光協会編集局
指導 日本体育大学 栗本義彦
舞踊家 藤蔭静枝

なほ、このテキストは視覚本位に、写真と図で説明し、読むというよりも、目で見てよくわかるように編集してあるのが、ねらいです。明日の明かるい村づくりのために、このテキストが役だてば、幸いです。

わがたちの生活と踊りとは、切っても切れないつながりがあります。うれいときには踊りがあって、その喜びを現わすことからわかるように、踊りは人の心の動きを、もつとも生き生きとした形で伝えるものです。

農村では、古くから盆や祭りのときに、その土地の踊りがたのしく踊られてきました。しかし、さいきん、婦人や青年のグループのつどいなどでは、その土地々々の踊りばかりでなく、いろいろな民謡をレクリエーションのために踊るようになってきました。

そこで、このテキストは、数多い日本の民謡の中から、なじみ深い十五の民謡を選び、広くおこなわれている振付を、栗本、藤蔭両先生に指導していただきました。

このテキストの使い方	表紙モデル	北沢典子(新東宝)
佐渡おけさ	佐渡おけさ	(三)
木曾おけさ	木曾おけさ	(六)
磯田おけさ	磯田おけさ	(九)
太田おけさ	太田おけさ	(三)
ソノタおけさ	ソノタおけさ	(五)
相馬おけさ	相馬おけさ	(八)
花笠おけさ	花笠おけさ	(二)
真室おけさ	真室おけさ	(四)
金比羅おけさ	金比羅おけさ	(七)
郡上おけさ	郡上おけさ	(一〇)
伊勢おけさ	伊勢おけさ	(三)
黒田おけさ	黒田おけさ	(六)
鹿島おけさ	鹿島おけさ	(九)
炭坑おけさ	炭坑おけさ	(二)

見てわかる生活文化テキスト①全国民謡の踊り方

昭和33年2月19日 第1刷発行 ©
東京都新宿区市ケ谷船河原町11 奥原 潔
発行者 東京都新宿区市ケ谷加賀町1の12 大日本印刷株式会社
印刷者 東京都新宿区市ケ谷船河原町11 社団法人 家の光協会
発行所

踊り方 一重田を作り、円の中心に向いて両足をそろえて立ち、時計回りで踊りはじめます。両手を振っているときは、肩の高さよりひじが低くならないようにします。
レコード ビクター・V四一三八六。前奏はそのまま聞いて待ち、唄が始まったら連続して踊り流します。

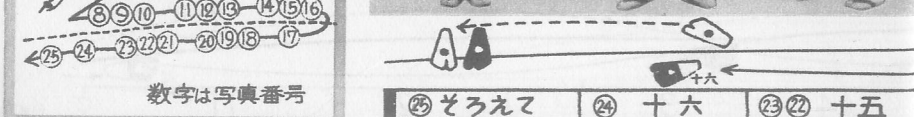
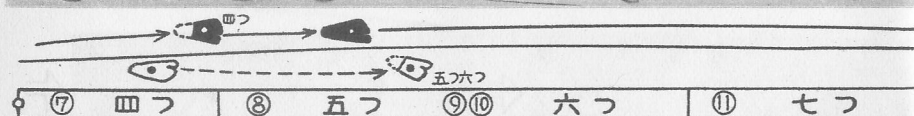
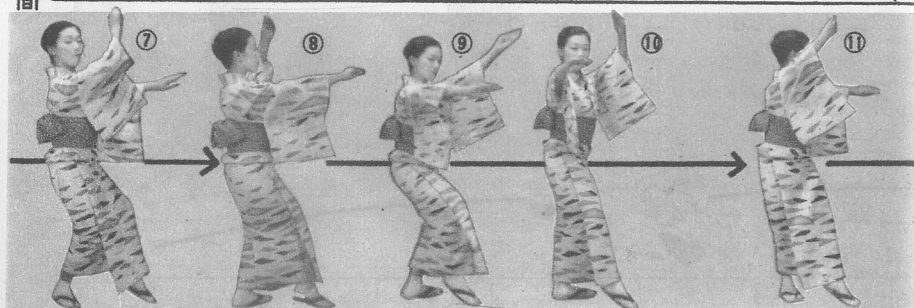
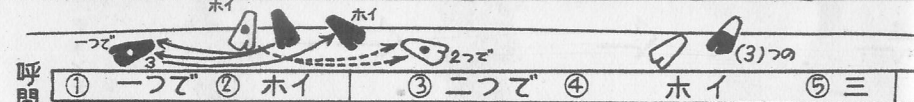
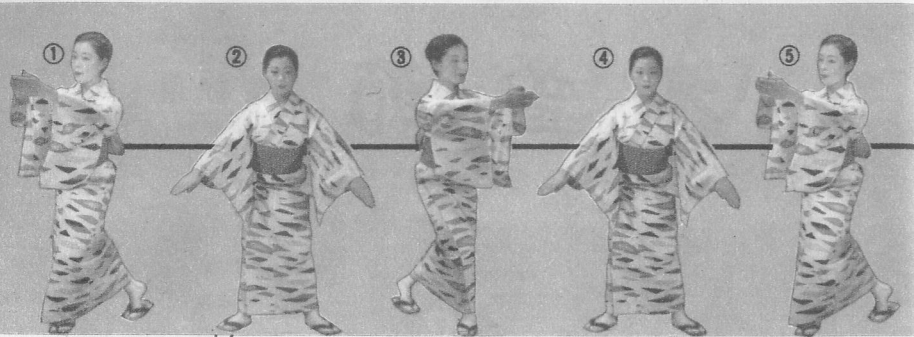
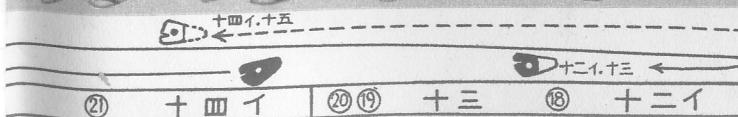
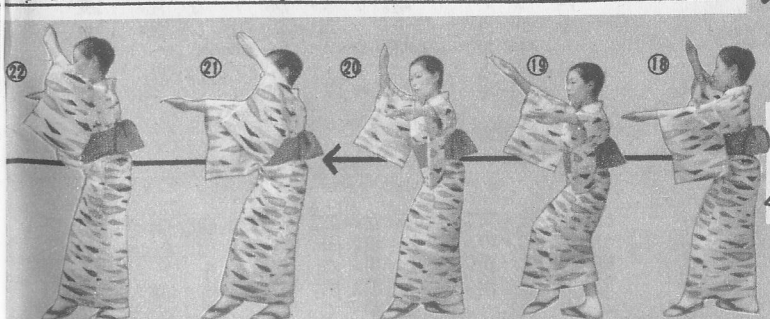
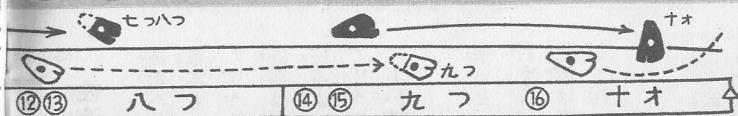
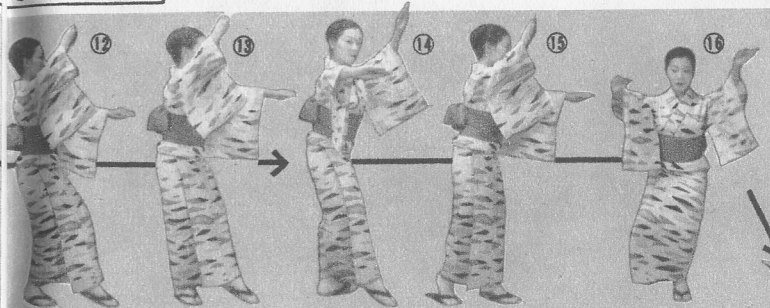
写真説明

①肩の高さで手拍子一つ打ちながら、左足を右に出して体重をかける。②左足を右足横に開いて両手をおろす。③④は①②の反対動作。⑤は①と同じ。⑥左足そのままで、右足を一歩出して手を右横へ流す。⑦足を逆方向に回しながら、左足前進し、手を振りかえる。⑧右足前進、手を振りかえる。⑨手を振りかえて、右足浮かせ腰をやや落とす。⑩両手右へ振り流して腰伸ばす。⑪⑫⑬は⑧⑨⑩と逆に左足出して両手右へ振り流す。⑭は⑩と同じ。⑮左足出して両手右へ振る。⑯左足に重心をかけて方向をかえる。⑰浮いた右足を逆方向に出し両手右に振りかえる。*

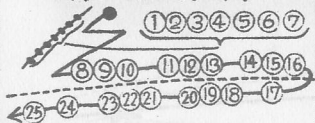


⑥ つの

佐渡おけさ



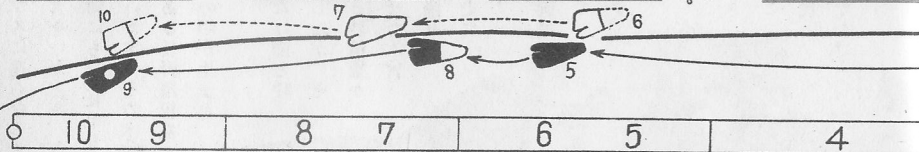
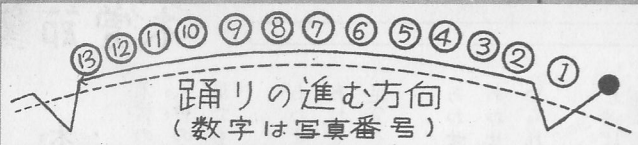
踊りの進む方向



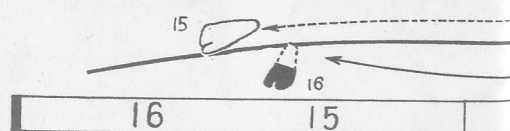
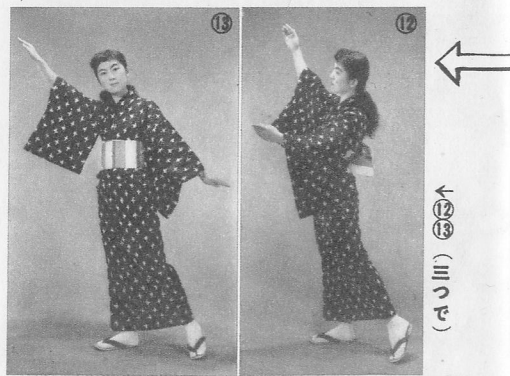
数字は写真番号

* ⑬⑭⑮は⑪⑫⑬に同じ。⑲⑳㉑は⑧⑨⑩に同じ。㉒は②と同じく、両手大きく左へ振り流しながら左足出す。

おろす。

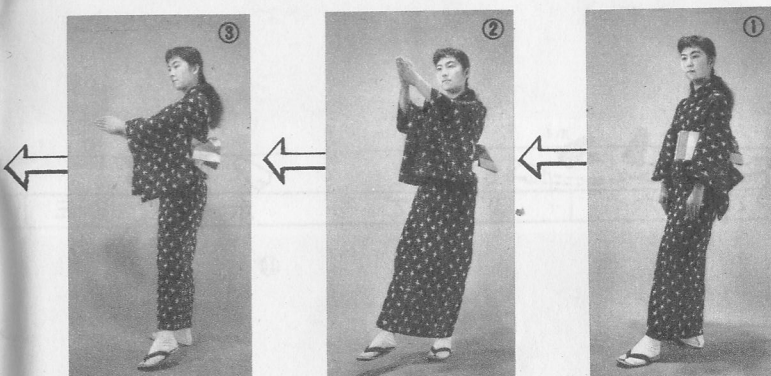


踊り方
男女自由に一重門をつくり、進行方向に向いて立ちます。踊りは、反時計回りに進みます。
レコード
ビクター・V四〇一〇、AE一六五、キング・C四〇六、コロムビア・A三七
どのレコードも、前奏の間、手拍子を打って待ち、唄の文句で踊り始め、連続して踊り続けます。

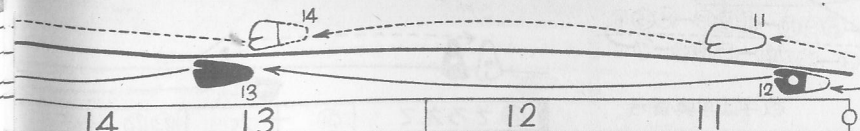
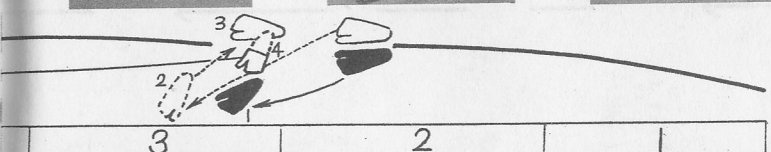


木曾節

長野県



①②③④ (チョンチョンチョン) 左から小さく歩きながら、三回手拍子うつ。



木曾節

木曾のナー 仲乗りさん
木曾の御嶽さんは ナンジャラホイ
夏でも寒い ヨイ ヨイ ヨイ

あわせナー 仲乗りさん
あわせやりたや ナンジャラホイ
足袋そえて ヨイ ヨイ ヨイ

あわせナー 仲乗りさん
あわせばかりは ナンジャラホイ
やられもせまい ヨイ ヨイ ヨイ

じゅばんナー 仲乗りさん
じゅばん仕立てて ナンジャラホイ
足袋そえて ヨイ ヨイ ヨイ

心ナー 仲乗りさん
心細いよ ナンジャラホイ
木曾路の旅は ヨイ ヨイ ヨイ

日本アルプスに連なる木曾山脈
はつねに白雪をいただき、御嶽さ
んは唄の文句にも、「夏でも寒い」
と歌われています。その木曾
谷の中心である長野県福島
地方で、この唄が生まれ
ました。

昔はおんたけ節と呼
ばれていましたが、そ
の素朴な味と詩情豊か
な唄にあわせた木曾
踊りは、盆踊りと
して長い歴史に
はぐくまれ、い
までも、全国的
に親しまれて
いるものです。
踊りの振り
も、だんだ
ん変わってき
ましたが、こ
れは一ばん代
表的なものです。



幾節

茨城県

常磐線水戸駅で、水浜線に乗
りかえて約四十分、大洗町磯浜
がこの唄の生まれたところだ。
土地の俳人が、漁師たちの歌う
唄のおもしろい節に引かれ、三

味の手がくふうされて、唄の節
が整えられました。太平洋に面
したこの地方の唄だけあってい
かにも、豪壮雄大で、海の民謡
として代表的なものの一つです。

磯節

水戸を離れて 東へ三里。
波の花散る 大洗。
波のネ 花散る イソ大洗。
アーサイシヨネ

うらやましいぞえ あの錨づな
水におれども 切れやせぬ
水にネ おれども イソ切れやせぬ
アーサイシヨネ

荒い波風やさしくうけて
ところ動かぬ 沖の石
ところネ 動かぬ イソ沖の石
アーサイシヨネ

磯で名所は 大洗様よ
松が見えます ほのぼのと
松がネ 見えます イソほのぼのと
アーサイシヨネ



磯節

踊り方

男女自由に一重円を作り、円の中心に向いて立ちます。踊りは、反時計回りに進みます。

レコード

キング・C六九四、前奏をその場で聞いた後、連続して踊り流します。踊りはどこからでも自由に入れます。

呼間

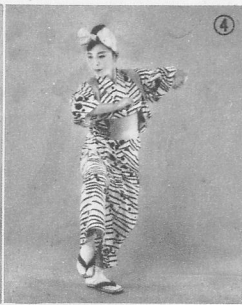
①手拍子一つ打つ。



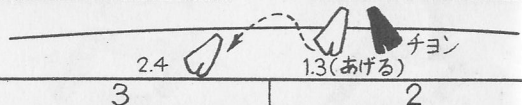
②両手握り斜め右下に手のひらを開きつつ流す。同時に右足あげる。



③右足をおろして右斜めに出す。



④⑤ ②③と同じ動作をくり返す。



⑥手拍子一つ打つ。



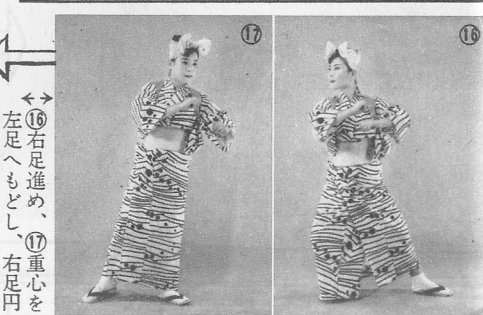
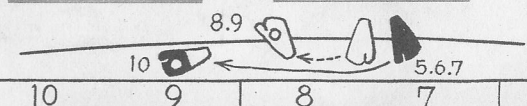
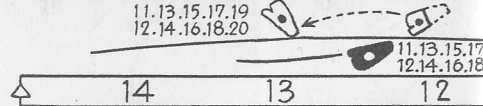
⑦左手をかざして左足一步前進する。



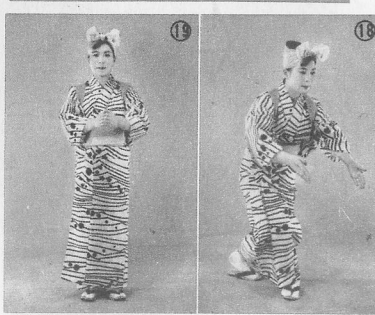
⑧右足一步前進して重心を右足にかける。



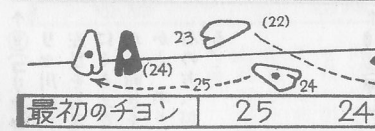
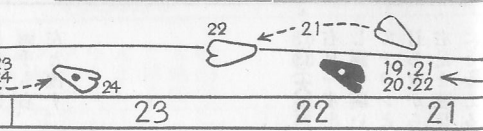
⑨⑩⑪重心のかけ方に注意しながら、帆綱を引く動作をする。



⑪⑫右足進め、⑬重心を左足へもどし、⑭右足円心に出し、⑮綱を左向きへ置く。



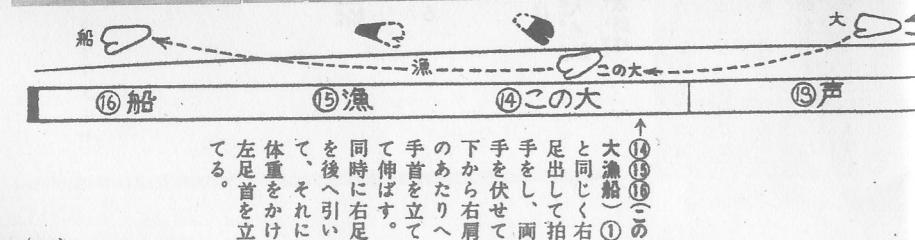
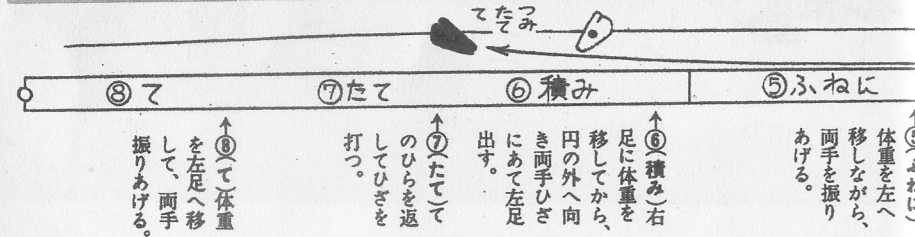
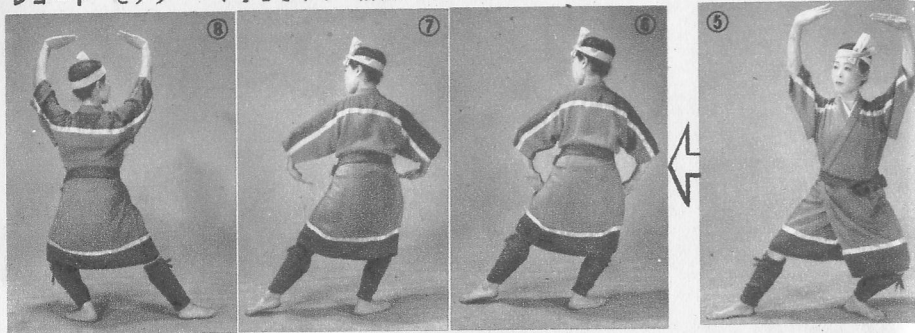
⑬綱を左肩にかついで左足一步前進する。



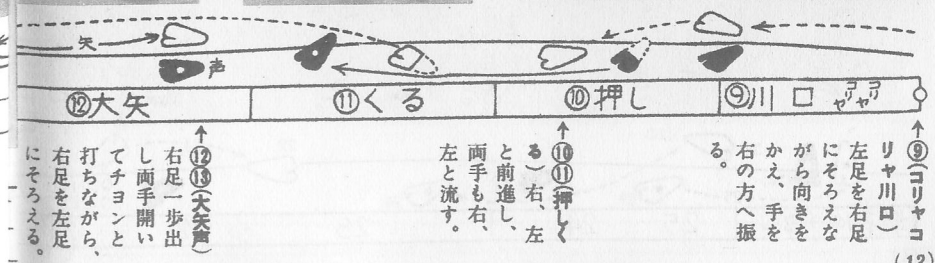
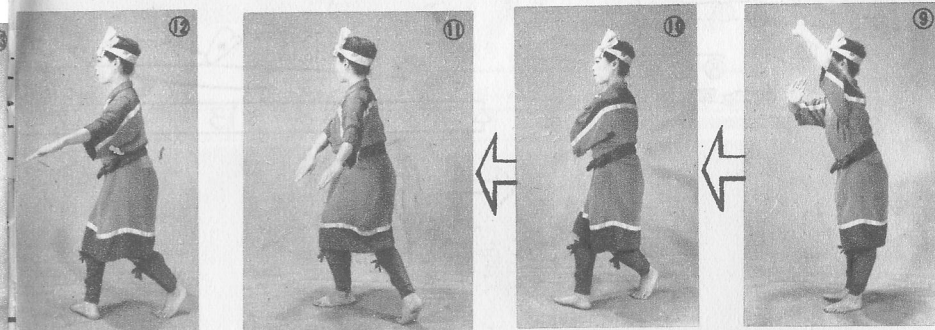
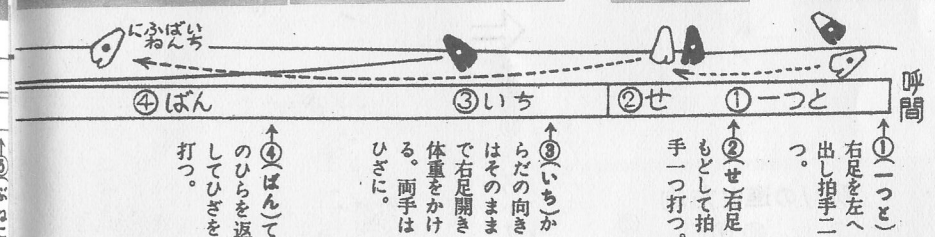
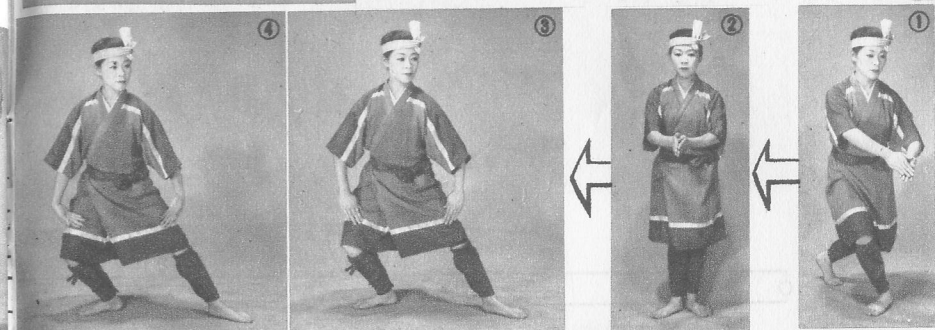
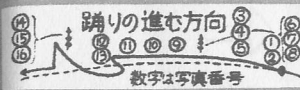
踊り方 男女自由に一重円をつくり、円の中心を向いて立ちます。踊りは、反時計回りに進みます。

レコード ビクター・V 4 1 3 7 7 前奏八呼

間は、チョチヨンがチヨンと、手拍子を打ちます。唄に入ったら、文句にあわせて踊ります。五番と六番の間奏八呼間は、手拍子で待ちます。



大漁節





沖のかもめに潮時間えは
わたしや 立つ鳥波にきけ
鯨場の娘 白粉いらぬ
銀の鱗で肌光る
男度胸だ五尺の身体
ドンと乗り出せ波の上

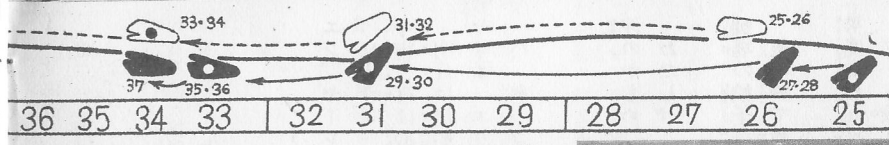
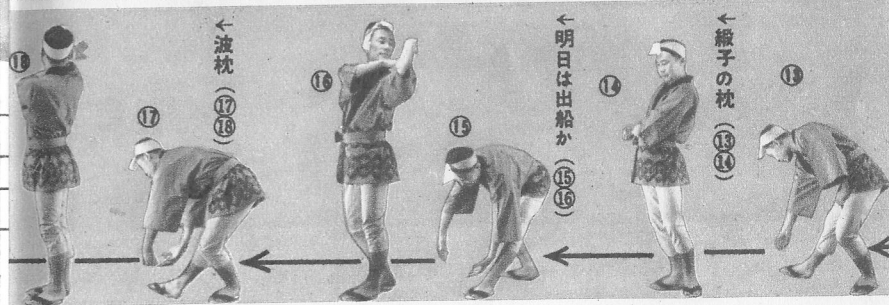
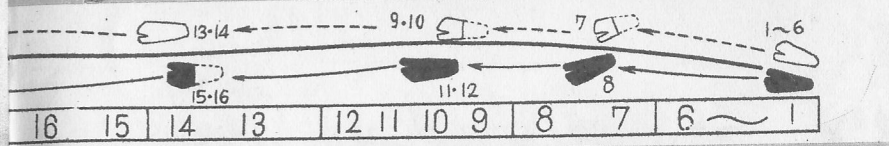
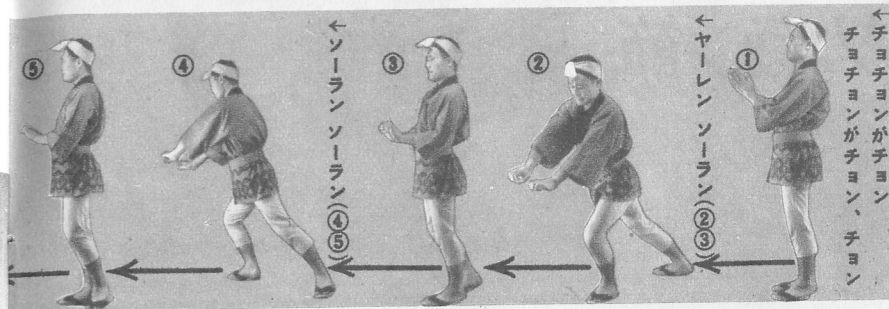
ソーラン節
エン、ヤーレン ソーラン ソーラン
ソーラン ソーラン ソーラン ハイハイ
今宵一夜は 緞子の枕
明日は出船か波枕 チョイ
ヤサエ エリヤアンサノ ドッコイショ
ハ ドッコイショ ドッコイショ
(囃子以下同じ)

北海道といえは思いだすのは、ニシンです。そのニシン漁で歌われる音頭の一つが、ソーラン節です。ソーラン節は、ニシンを桙網からタモですくい上げるときに歌うもので、その本場は余市から増毛・留萌付近です。この振付は第七回レクリエーション大会発表のものです。

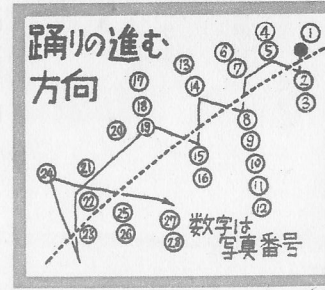
いまから百年前、千葉県の銚子沖で、これまでにないイワシの大漁があり、網元や漁師はもちろんのこと、町中が大きなわきをしました。そのとき、お祝いの踊りをつくろうということで、この大漁節が生まれました。いまでは、日本全国で大漁唄として、親しまれています。

大漁節
一つとせ 一番船に積み立てて コリヤコリヤ
川口押し来る大矢声 この大漁船
二つとせ 二間の沖から外川まで
続いてよせ来る大鯨 この大漁船
三つとせ 皆一同にまねをあげ
通わせ船のにぎやかさ この大漁船
四つとせ 夜ひるたいもたき余る
三杯いっちょの大鯨 この大漁船
五つとせ いつきて見ても干鰯場は
あき間もすき間も更けない この大漁船
(以下歌詩略)

←チヨチヨンがチヨン
チヨチヨンがチヨン、チヨン



ソーラン節



踊り方

男女自由に一重円をつくり、進行方向に向いて立ちます。踊りは、反時計回りに進みます。

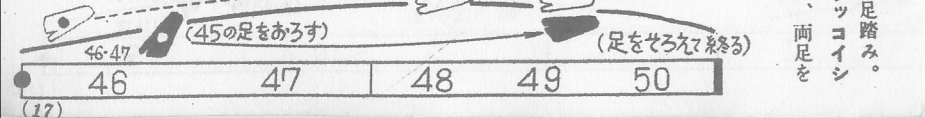
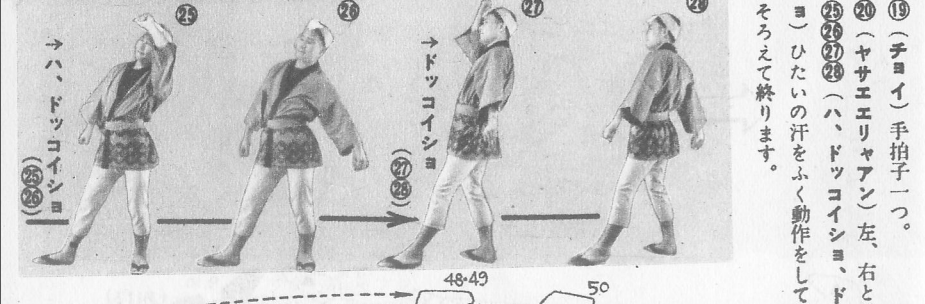
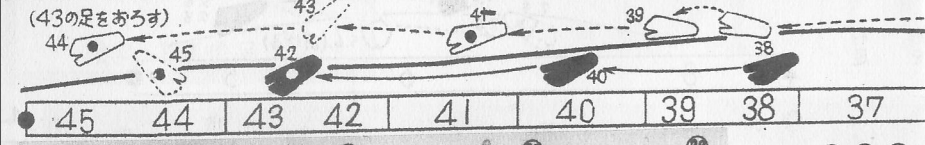
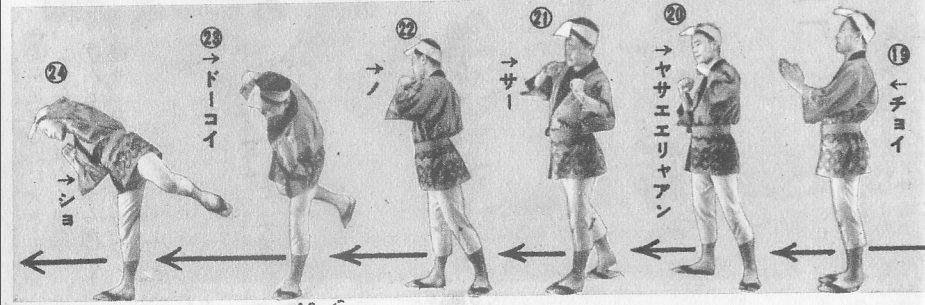
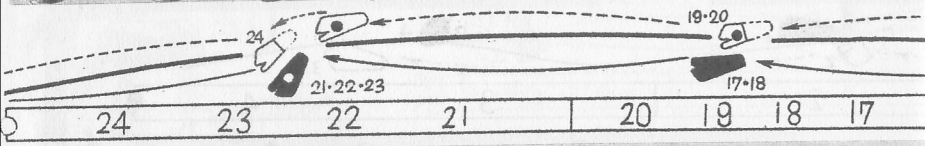
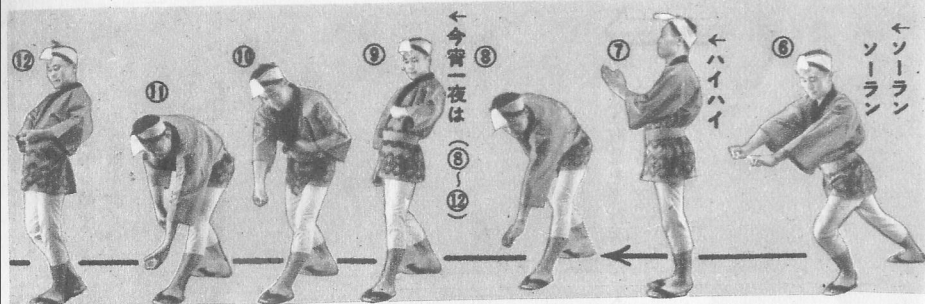
レコード

ビクター・A E 一一八は、前奏二十呼間を聞いてから、手拍子を始めて連続して踊りを続けます。コロムビア・A 一八六〇は前奏十二呼間を聞いてから、手拍子に入り踊りを繰り返します。キング・C 五〇四七は、曲の開始と同時に手拍子から始めて連続して踊り流します。

写真説明

① その場でチヨチヨンがチヨン、チヨチヨンがチヨン、チヨンと七つ手拍子。
⑦ (ハイハイ) 二回手拍子打つ。

⑮ (チヨイ) 手拍子一つ。
⑳ (ヤサエリヤン) 左、右と足踏み。
㉓ ㉔ ㉕ (ハ、ドッコイシヨ、ドッコイシヨ) ひたいの汗をふく動作をして、両足をそろえて終ります。





相馬盆踊り

福島県

でも踊れます。
曲のどこから
て繰り返し踊
り流します。
あとは連続し
のまま聞き、
ドも前奏はそ
とのレコー

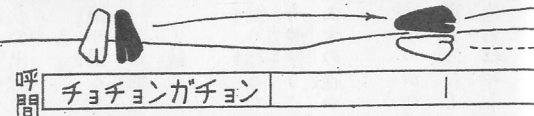
踊りの進む方向



→①チョンチョンがチョンと手拍子。



→②進行方向に向き左足を大きく出し、それに右足をそえて③となる。



呼間

チョンガチョン

キング・C五〇七〇

ピクター・V四一三八八

レコード

は時計回りに進みます。

男女自由に一重円を作り、円の中心に向かい、両足そろえて立ちます。踊りは時計回りに進みます。

踊り方

男女自由に一重円を作り、円の中心に向かい、両足そろえて立ちます。踊りは時計回りに進みます。

→⑧斜め右下に両手を流しながら、右足を斜め右に下ろす。

→⑨出した右足を左足にそろえて、形を決める。

→⑩⑪⑫⑬と反対動作を、呼間を早く動く。

→⑭出した左足を前に上げ、両手を上げる。→⑮上げた左足を右へ深く下ろし、両手開く。

→⑯⑰右足を左足にそろえて、「チョン」のとき、右足浮かせて腰を落とす。

→⑱斜め右下に両手を流しながら、右足を斜め右に下ろす。

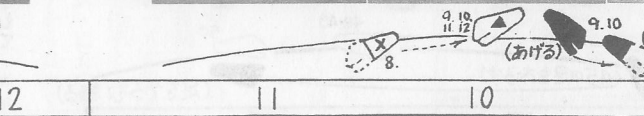
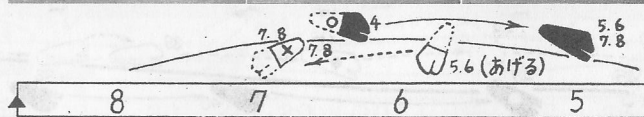
→⑲出した右足を左足にそろえて、形を決める。

→⑳斜め右下に両手を流しながら、右足を斜め右に下ろす。

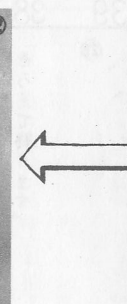
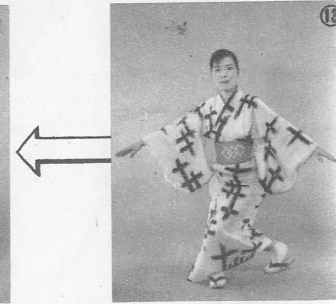
→㉑出した右足を左足にそろえて、形を決める。



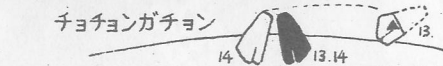
→⑥左足をさらに大きく出しながら円の中心に向く。
→⑦右足を上げながら両手を握り、左肩に上げる。



12 11 10 9



チョンガチョン



14 13 12

相馬盆踊り

福島県の盆踊りは、地方によって、およそ三つに分かれています。この踊りは、そのうちの相馬地方で踊られるものです。その唄は、「ハーイヨ」のかけ声で始まる景気のよい節です。振付は福島県教育委員会が選定したものを紹介しました。

相馬盆踊り

この子だますな守ほしいよ

ハーイヨ

ことしや豊年だよ

ハ、コリヤコリヤ

穂に穂が咲いてよ

ハーイ道の小草にも

ヤレサ米がなるよ

ア、ヨイヨイ ヨイトナ

(囃子以下省略)

そろたそろたよ

踊り子がそろたよ

秋の出穂よりよくそろたよ

踊り踊るなら

三十が盛りよ

三十越ゆれば子が踊るよ

踊り踊るなら

今晩限りよ

あすの晩からかこの鳥よ

踊りつかれて

寝てみたもののよ

遠音ばやしに寝つかれぬよ

山の木がやに花が咲くよ

踊り踊り出し

この子がじゃまだよ



花笠踊り

山形県

山形県の村山地方と置賜地方に昔から伝わる踊りで、古くは、この地方の特産であった、紅花の造花で飾られた花笠をかぶって踊ったものです。唄の中にも紅花のことが歌われており、この紅花の「花

摘み唄」の流れをくむものといえましょう。

この振付は、第八回レクリエーション大会において、米沢レクリエーション協会から発表されたものを紹介しました。

花笠踊り

おらが在所に来て見やしやんせ

米のチヨイチヨイ なる木がお辞儀する

アーヤツシヨ マカシヨ

シャン シャン シャン(囃子以下省略)

おは二十八初花ざかり

行かにヤチヨイチヨイ 見にくる逢いにくる

男心と茶がまの水は

沸くもチヨイチヨイ 早いがさめやすい

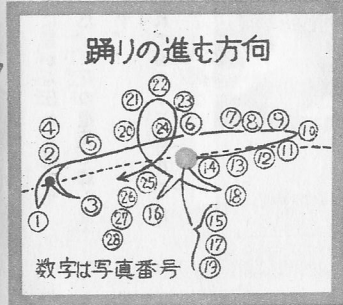
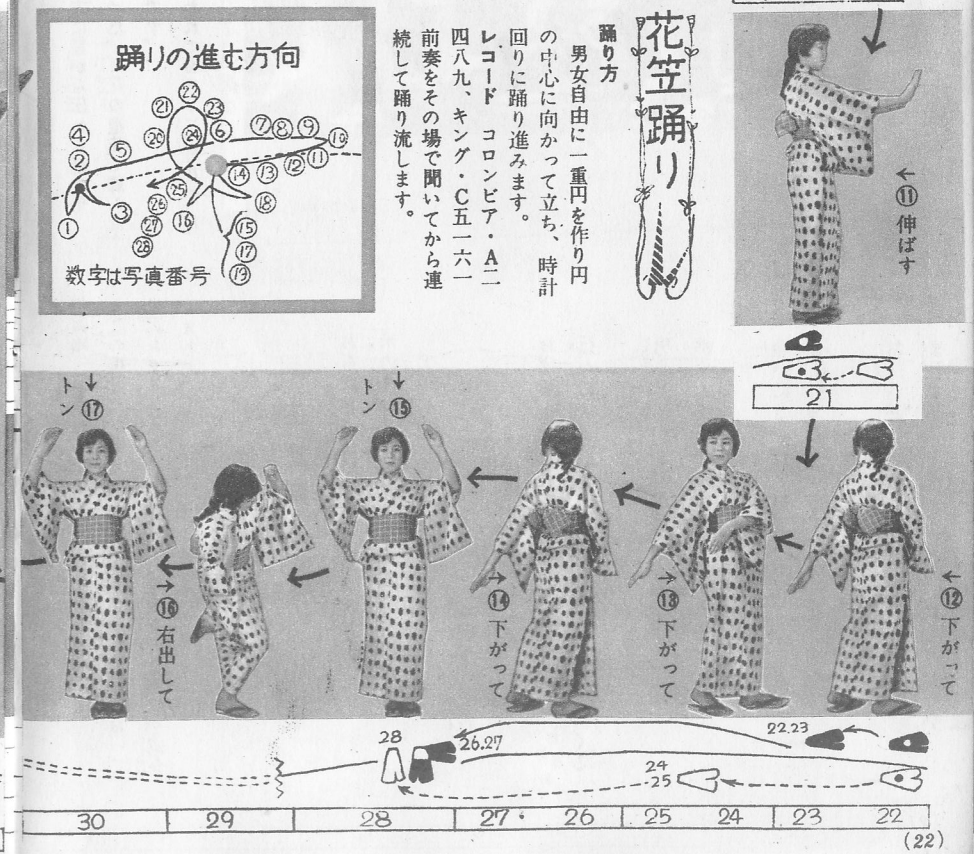
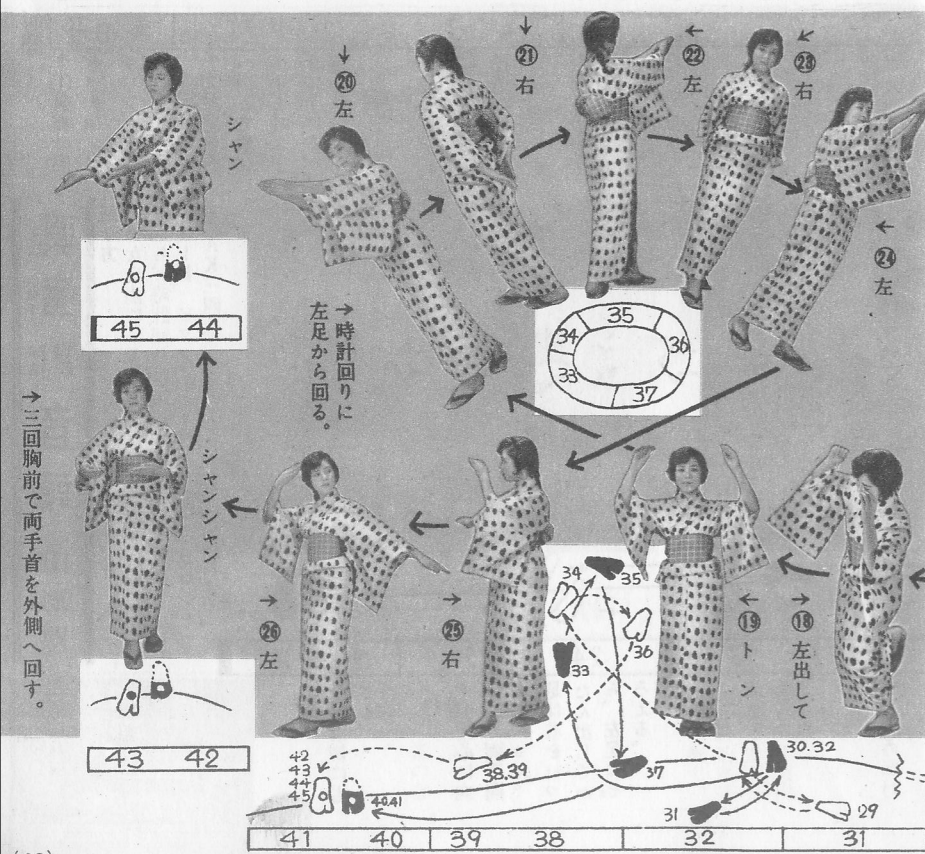
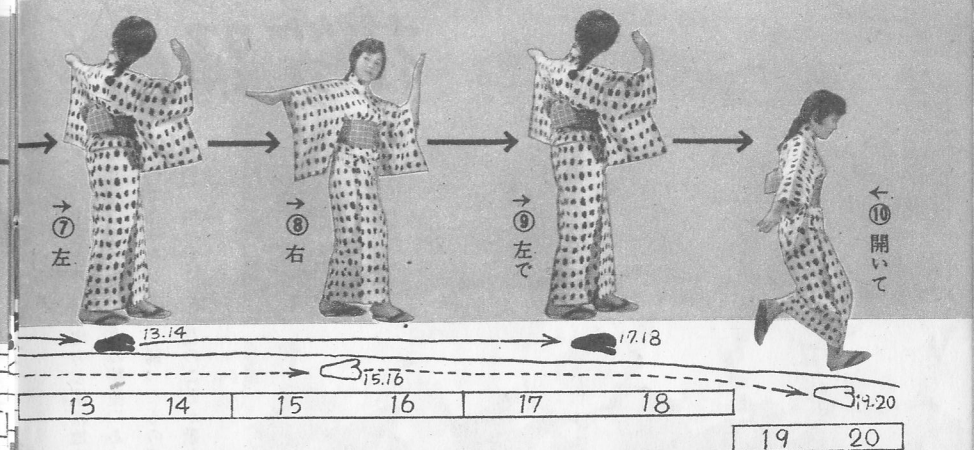
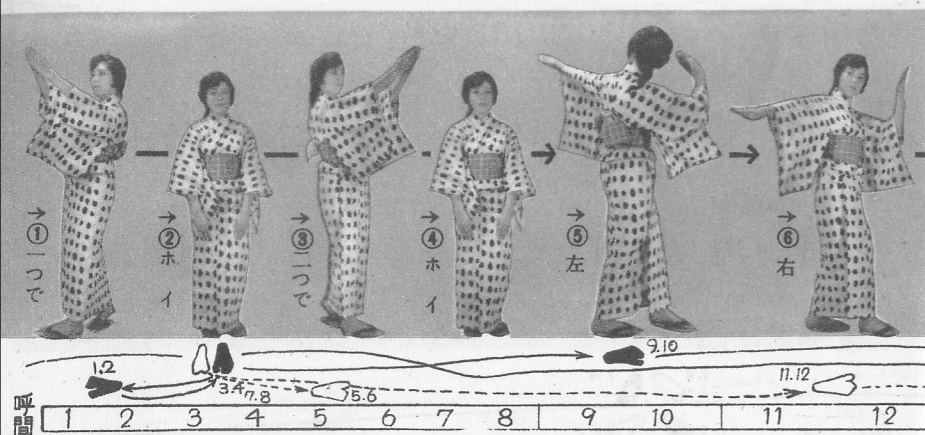
逢いにござれと紅花入れて

尾花チヨイチヨイ 沢から文が来た

お月さまさえ夜遊びなさる

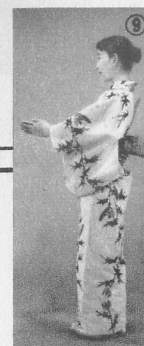
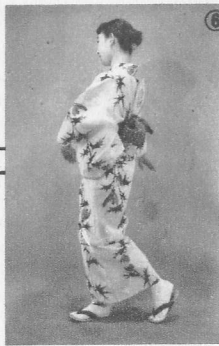
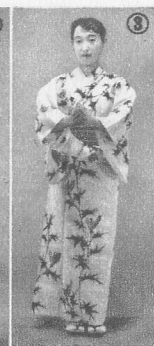
ましてチヨイチヨイ 若い衆むりはない





踊り方
男女自由に一重円を作り円
の中心に向かって立ち、時計
回りに踊り進みます。
レコード コロンビア・A二
四八九、キング・C五一六一
前奏をその場で聞いてから連
続して踊り流します。

花笠踊り



呼間
↑①前奏の間
チョンが
チョンと拍手

↑②左足を右
へ出して飛び
両手を呼ぶよ
うに上げる。

↑③左足もと
にもどして手
拍子一つ。

↑④⑤②③の
逆を踊る。

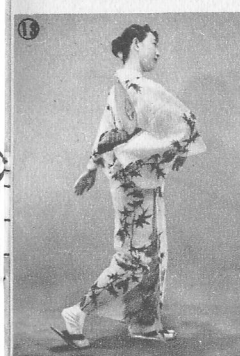
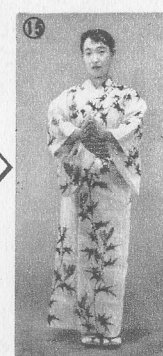
↑⑥右足一歩
出し、両手右
横へ流す。

↑⑦さらに左
足出して両手
左横へ流す。

↑⑧⑨両手開
いてチョンと
打ちながら、
右足を一歩踏
み出して、も
ともどす。

真室川音頭 山形県

踊り方
男女自由に一重円を作り、円の中心に向かって立ち、時計回りに進みます。
レコード ビクター・V四一五五二、コロムビア・AK三四八 どこからでも自由に踊れます。



↑⑩最初にも
どる。

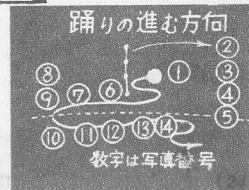
↑⑪円心に向
いて、両手開
いてチョン。
足は右をいっ
たん出してか
ら、左足にそ
ろえる。

↑⑫⑬の反対
の手足。

↑⑭急に方向
を変えて右足
一歩前進両手
は右に流す。

↑⑮左足一歩
引き、逆の形
をする。

↑⑯両手を開
き右足あとへ
引く。



真室川音頭

昭和六年ころ、山形県の真室川地方に飛行場がつくられました。この工事に従事した人たちの間で、盛んに愛唱されたのが、真室川音頭の元唄であるナット節です。このナ

ット節は北海道、樺太地方に古くから歌われていたものですが、これを聞いた土地の人が、三味線で編曲して以来、全国的に知られるようになりました。

真室川音頭

わたしや真室川の梅の花 コーリヤ
あなたまた新庄のうぐいすよ
花の咲くのを待ちかねて コーリヤ
つばみのうちから通ってくる
ア、ドントコイ ドントコイ

広い田んぼに出てみれば コーリヤ
さらしの手ぬぐいはおかむり
赤いたすきにもんべき コーリヤ
稲刈るお婆このあで姿
ア、ドントコイ ドントコイ

はるか向こうより車が三台 コーリヤ
先はまた大黒中恵比須
あとの車にや宝を積んで コーリヤ
名ざしてくるのはこのやかた
ア、ドントコイ ドントコイ



金比羅船々

香川県



金比羅船々

金比羅船々

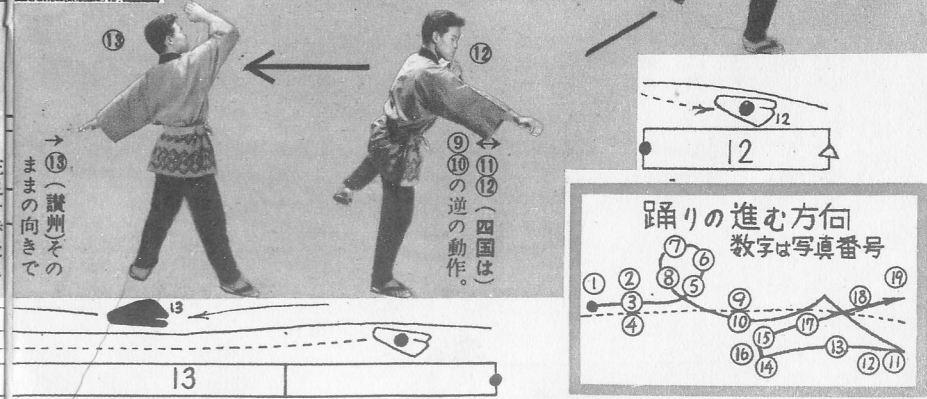
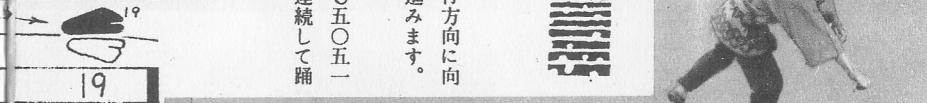
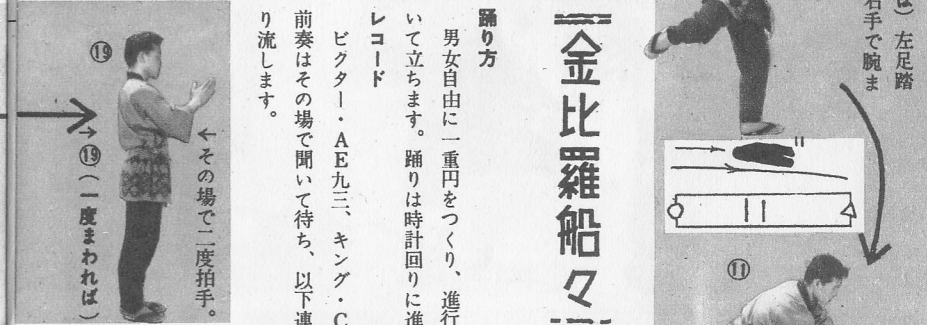
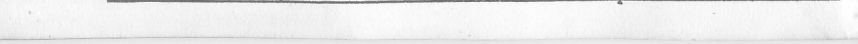
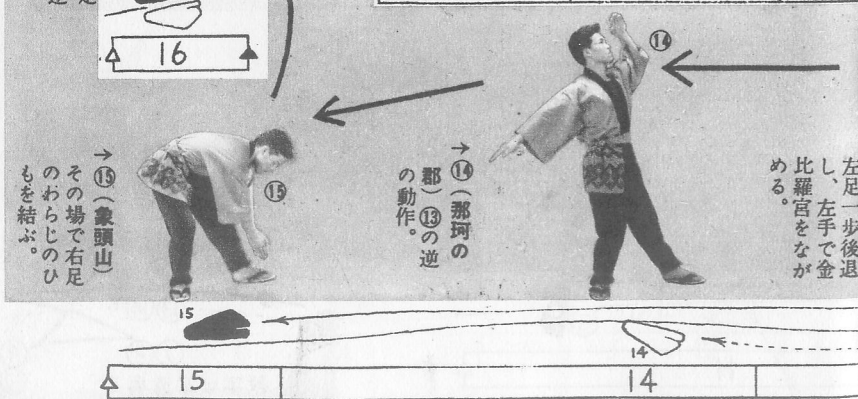
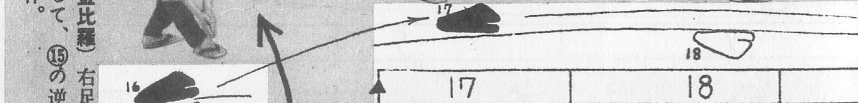
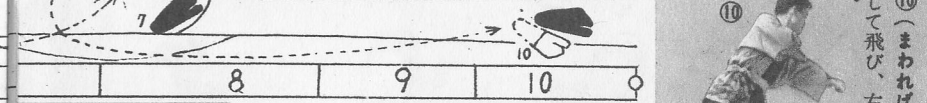
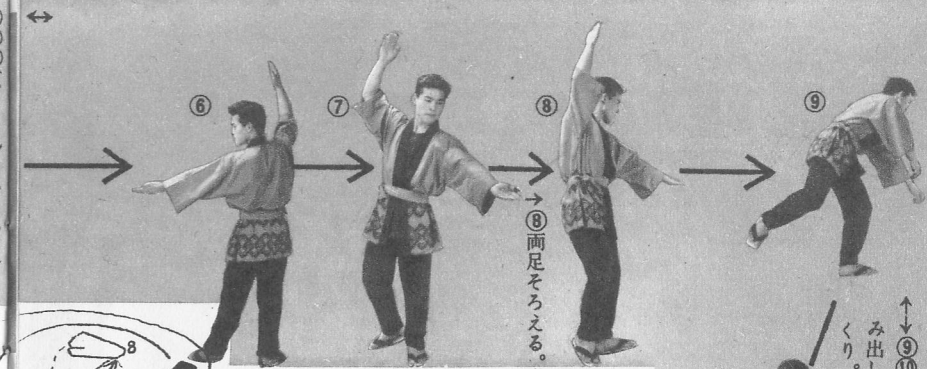
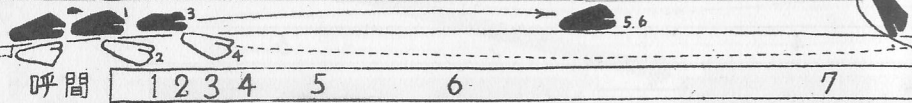
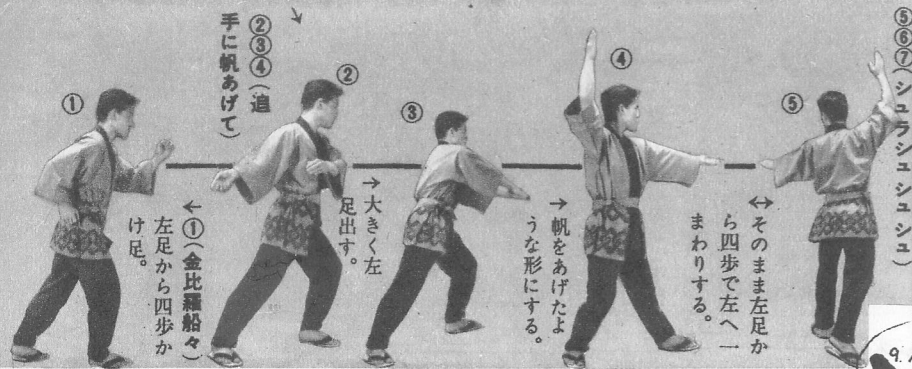
追風に帆かけて

シユラ シユシユシユ

まわれば四国は讃州那珂の郡
象頭山金比羅大権現

一度まわれば

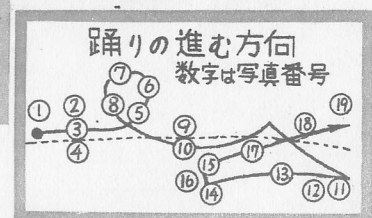
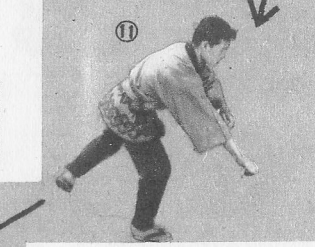
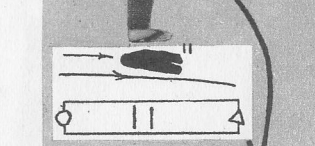
香川といえは、金比羅さまを思い出すと同時に、あの軽快な「金比羅船々」のメロデーが浮かんできます。
この唄は、幕末から明治にかけて全国的に広まり、お座敷の囃子唄として、親しまれてきました。のち、当地出身の民俗研究家、中山義夫氏が新たに振り付けて、四国で行われた第八回国民体育大会で発表したのが、この踊りです。



金比羅船々

踊り方
男女自由に一重円をつくり、進行方向に向いて立ちます。踊りは時計回りに進みます。
レコード
ビクター・AE九三、キング・C五〇五一
前奏はその場で聞いて待ち、以下連続して踊り流します。

⑨⑩ (まわれば) 左足踏み出して飛び、右手で腕まくり。



郡

上

節 (かわさき)

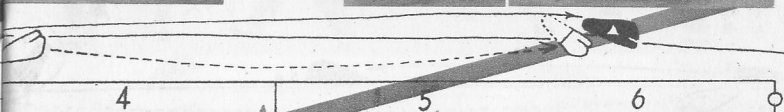
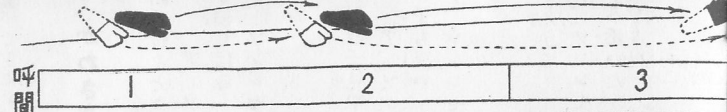
岐阜県



←①②(左) 右足は軽くあげて左足の後に置く。



←⑤⑥(左) ①②に同じ。



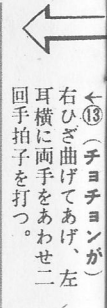
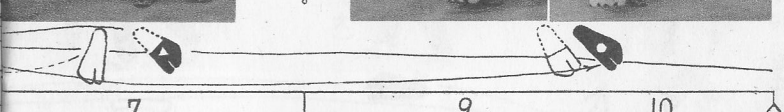
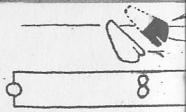
呼間

踊り方
男女自由に一重円をつくり、両足をそろえて円の中心に向かって立ちます。
踊りは、時計回りに進みます。
レコード
コロンビア・A一四四三
前奏はその場で聞いて、唄の文句から踊り始めます。あとは繰り返して踊り流します。
全体にゆつくりと踊ります。

→⑦⑧(右振り) ⑦から一歩右へ右足を出し、左足を軽くそろえる。

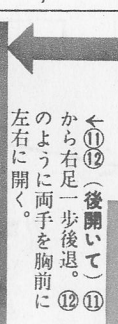
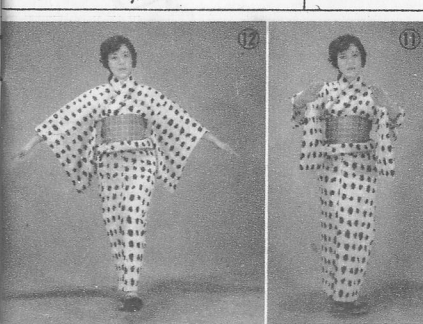
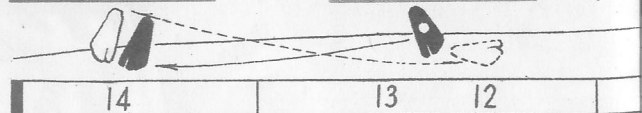


→⑨⑩(左振り) ⑦⑧を左へ同じように流す。



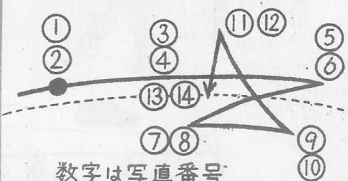
←⑭(チョン) あげだ右足を右横に置き、左足を打ちそろえつつ、左腰横で拍手。

←⑬(チョン) 右ひざ曲げてあげ、左耳横に両手をあわせ二回手拍子を打つ。



←⑪⑫(後開いて) ⑪から右足一歩後退。⑫⑪のように両手を胸前に左右に開く。

踊りの進む方向



数字は写真番号

ひえつき節 宮崎県



鈴の鳴るときや
何というて出ましょーホイ
駒に水くりよと
いうて出ましょー

庭の山椒の木に
鳴る鈴かけてヨーホイ
鈴の鳴るときや
出しておじゃれよ

ひえつき節

宮崎県の椎葉村は、その昔、
平家の落人が住みついたと伝え
られています。山の中なので米
がとれず、ヒエを主食としてい
ました。このひえつき節はその
ヒエをつくために、村じゅうの
人が集まり、白を囲んで歌った
ことから始まりました。この振
付は、昭和三十年の全国レクリ
エーション大会で発表されたも
のです。

いうてたもるな
間のとこでヨーホイ
たにだ急いで
今ぞ来る

さまぞござるなら
宵の内にござれヨーホイ
どこの夜遊び
もどりがけ

おどまいやばを
この山奥でヨーホイ
鳥の鳴く声
聞くばかり

なんぼ搗いても
この稗はむけぬヨーホイ
どこの御蔵の
下積みか

稗はついても
来るこた来るがヨーホイ
しばし待ちやれ
おそござる



郡上節 (かわさき)

岐阜県郡上郡八幡町に伝わるこの踊りは
三百五十年の昔から、大ぜいの人たちに、
親しまれ踊りつづけられてきたものです。
毎年、七月から九月にかけて「郡上踊り
の夕べ」は毎晩催され、この踊りの豊かな
情緒と、素朴なおもむきをしたって、数千
の人々が八幡町に集まっています。

郡上のナーハ幡コラ出て行くときは

ア、ソソレセ

雨も降らぬに袖しぼる袖しぼる

コラノー袖しぼる ア、ソソレセ

雨も降らぬに袖しぼる

向かいチャ小駄良コラ牛の子見やれ
ア、ソソレセ

ア、ソソレセ

親が黒けりや子も黒い子も黒い

コラノー子も黒い ア、ソソレセ

親も黒けりや子も黒い

盆のナーお月様丸うて丸うて

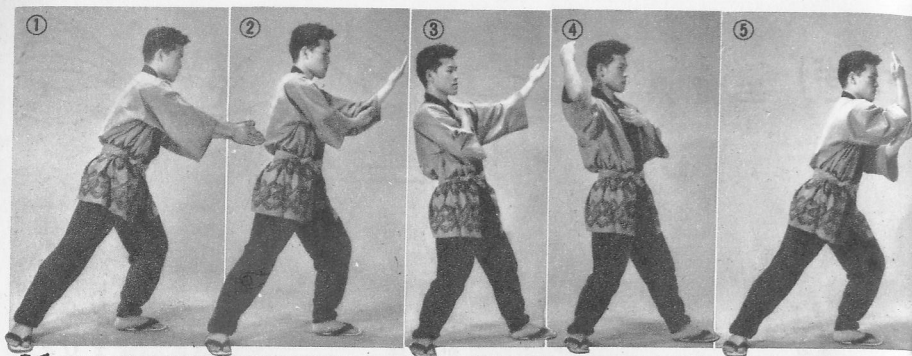
ア、ソソレセ

丸が角のうて添いたかろ添いたかろ

コラノー添いたかろ ア、ソソレセ

丸が角のうて添いたかろ





呼吸 1 2 3 4 5

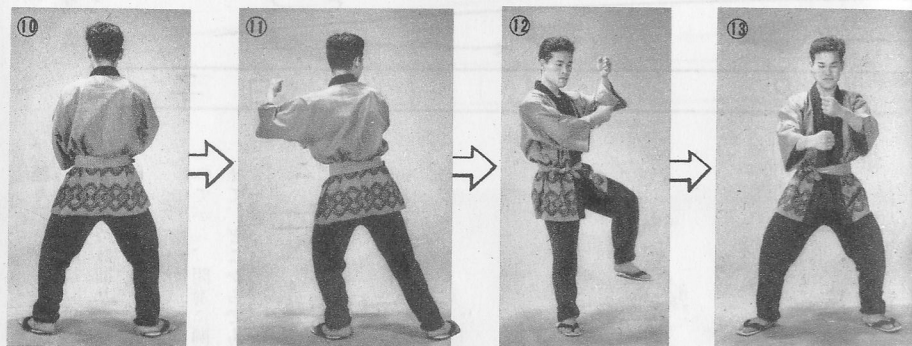
↑①(庭の)
左足を大きく
出して拍手す
る。

↑②(さん)
右手で左ひじ
を一つたたく。

↑③(しゅ)
右手で左胸を
一つたたく。

↑④(のー)
左手で右胸を
一つたたく。

↑⑤(木ー)
左手で右ひじ
一つたたく。



14 15 16

↑⑩(ウー)
真上から下に
つきおろす。
(からだは円
外へ向く)

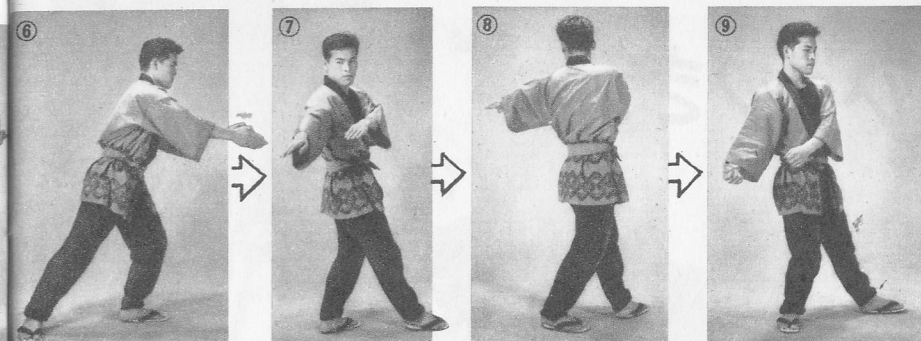
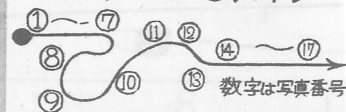
↑⑪(かーけ)
体重を左足に
おいて両手あ
げる。

↑⑫(てー)
円心からだ
を向けながら、

↑⑬(エー)
ヨーオ
体前に垂直に
きねを落とす。

踊り方
男女自由に一重
円を作り、進行方
向に向いて立ち、
時計回りに進む。
レコード
ビクター・
V四一二四〇
は、そのままで聞
いて待ち、踊りに
入ります。間奏の
あいだは、最初の
十二呼吸を繰り返
し唄が始まったら
初めから踊ります。

踊りの進む方向



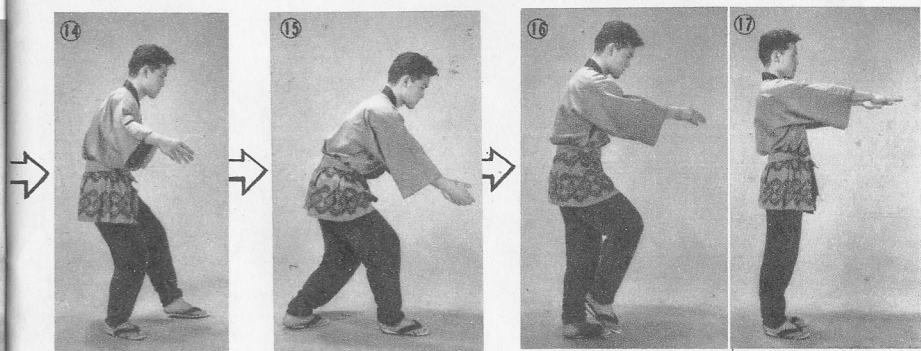
(6・7・8) (9・10) (11・12) 13

↑⑥(イー)
チョンチョン
と二回拍手。

↑⑦(なる)
右足前進、両
手右横へ流す。

↑⑧(ウーウー)
出した右足後
退、両手振り
かえる。

↑⑨(鈴)
きねを持ち、



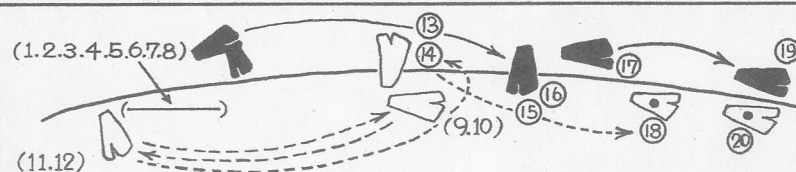
17 18 (19・20)

↑⑭(オーオ)
左足より前進。
両手斜め下前
へ、出す。

↑⑮(オー)
白の中から物
を取りあげる
動作。

↑⑯(ホー)
両手前へあげ
る。

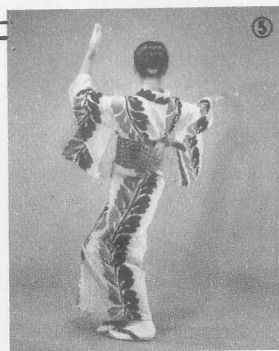
↑⑰(イー)
右足に左足を
そろえて両手
伸ばす。



足あし
型がた

伊勢音頭

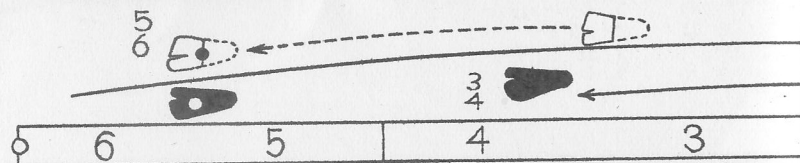
(さわぎ) 三重県



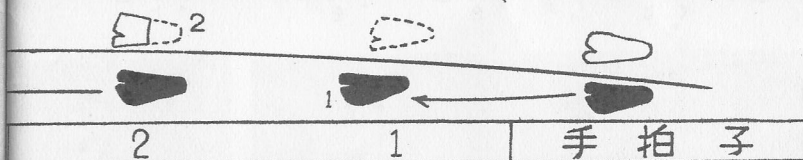
⑤ 右足を左足へ寄せる。



④ 両手を大きく振り流しながら、左足で前進。



③ 両手左より右へ大きく流しながら腰を伸ばす。



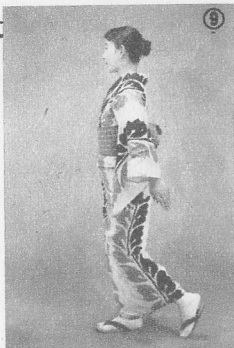
手拍子

① チョチョンがチョンと手拍子を打つ。または円心にむいてチョチョンと打ち、進行方向にむきをかえて一つ大きく打つ。

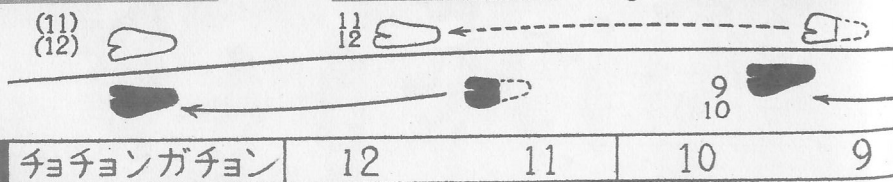
呼間



⑪ 左足を右足にそろえてその場で手拍子。すぐ②へもどり、踊り続ける。



⑨ 左足を一步出しながら両手を下からいたたく。⑧ 右足前進。両手伏せて下へおろす。



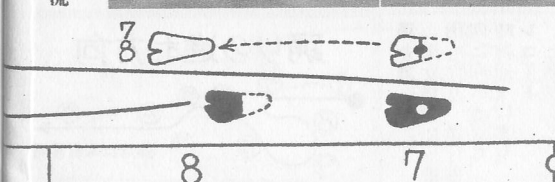
チョチョンガチョン



⑦ 右足を大きく一步出しながら、両手斜め右下に流す。



⑥ 右足を浮かせ、両手右斜め上から大きく円を描きながら左斜め上へ差し出す。



踊り方
男女自由に一重円を作り、進行方向に向いて立ち、時計回りと反対に踊り進みます。
レコード
ビクター・V四〇四〇八 前奏をその場で聞いているから、間奏に関係なく踊り流し、曲に合わせて、どこからでも踊れます。

踊りの進む方向

⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③②①
数字は写真番号

伊勢音頭

伊勢音頭（さわぎ）

お伊勢ナー よいとこ菜の花つづき

ヨイヨイ

唄もなつかし ヤンレ 伊勢音頭

ソレ ヤートコセーノ

アーラ コレワイセー ヨーイヤナ

ヨイトコー伊勢（以下囃子略）

帯にナー 短したすきに長し

お伊勢参りの ヤンレ 笠のひも

馬はナー 豆好き馬子酒が好き
乗せたお客は ヤンレ 唄が好き

お伊勢ナー 音頭に心が浮いた
わしも踊ろか ヤンレ 輪の中で

紀伊半島の南端にある伊勢は、伊勢神宮を中心とする、美しい観光地として知られています。
この地方に、古くから伝わる伊勢音頭は、「さわぎ」「祝唄」「木やり唄」などを総称したものです。

この唄は、最初は、手拍子だけで歌われていたが、のちに三味線や太鼓などで音頭を取るようになりました。
ここに紹介するのは、そのうちの「さわぎ」という一般的な踊りです。



黒田節 福岡県



黒田節

その昔、九州の黒田藩では、武士のたしなみとして今様が歌われておりましたが、その一つに「黒田武士」というのがあり、それが明治時代になってから、「黒田節」となったわけです。

踊りは勇壮活発なもので、酒席などでも好んで踊られています。ここではレクリエーションとしての振付を紹介しました。

酒は飲め飲め飲め飲めむならば
日の本一のこの槍を
飲み取る程に飲むならば
これぞまことの黒田武士
皇御国の武士は
いかなる事かを勤むべき
ただ身に持てる真心を
君と親とに尽すべき

峰の嵐か松風か
たずぬる人の琴の音か
駒ひきとめて立寄れば
爪音高き想夫恋

黒

田

節



踊り方

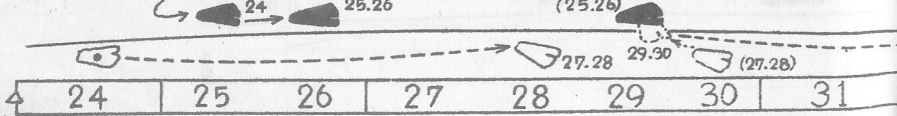
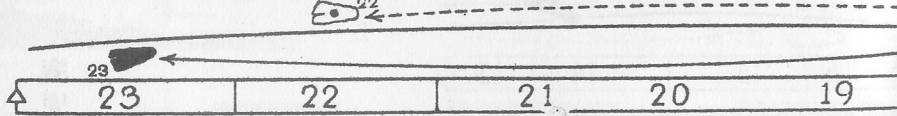
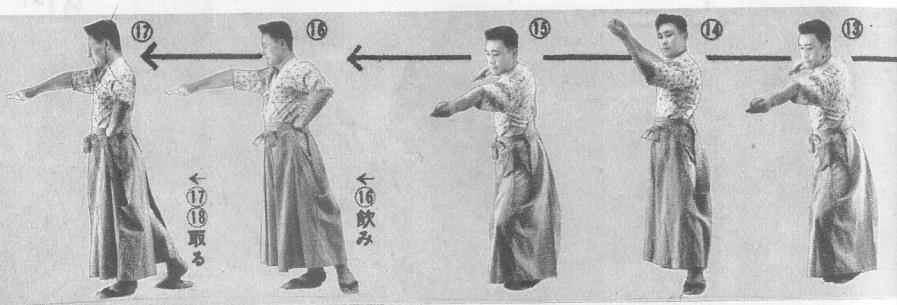
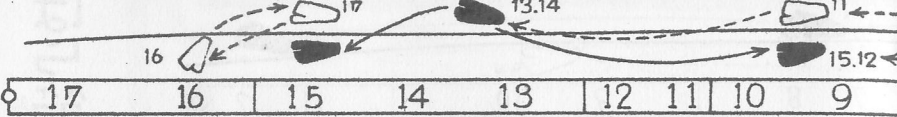
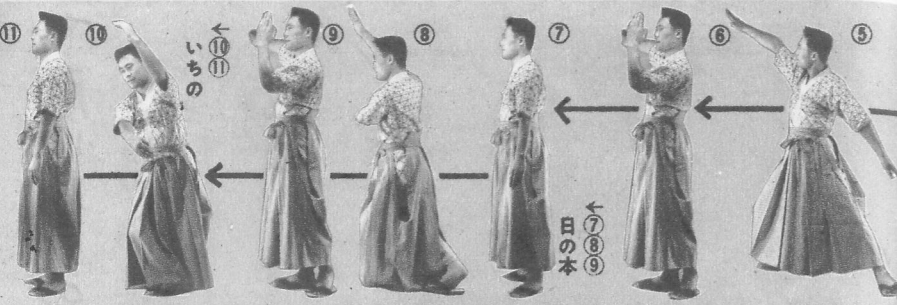
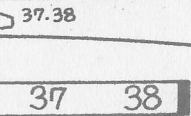
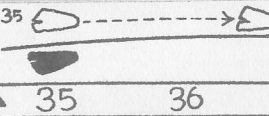
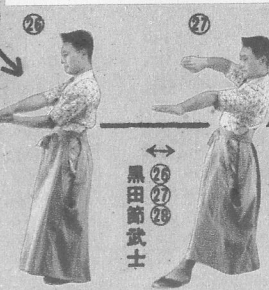
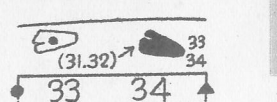
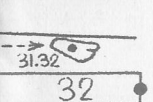
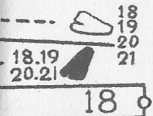
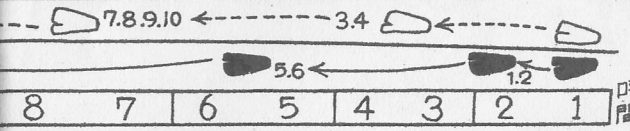
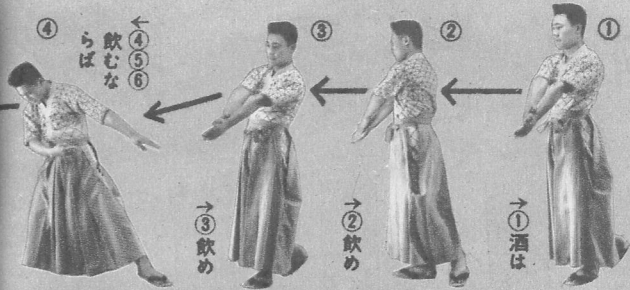
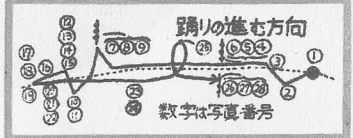
隊形にとらわれず自由に踊れます。

レコード

ビクター・V四一四五九、キング・C五〇一六は前奏十六呼間をそのまま聞き、唄に入ったら踊り始めます。間奏十六呼間は「これぞ

写真説明

まことの黒田武士」の振りを繰り返します。ビクター・A E一九二は前奏十六呼間を聞いてから、繰り返します。



鹿児島おはら節

鹿児島県

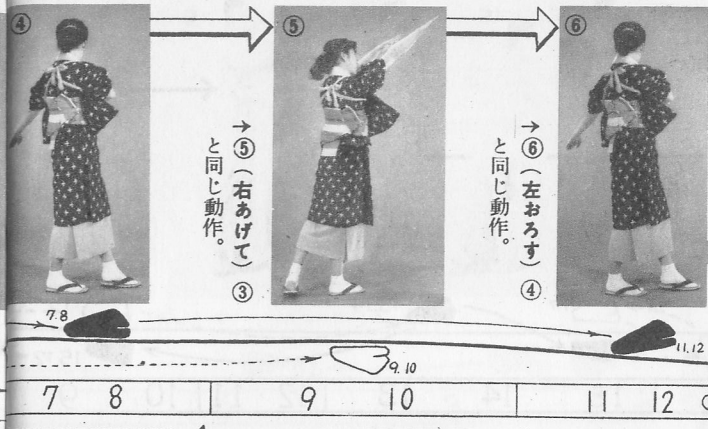
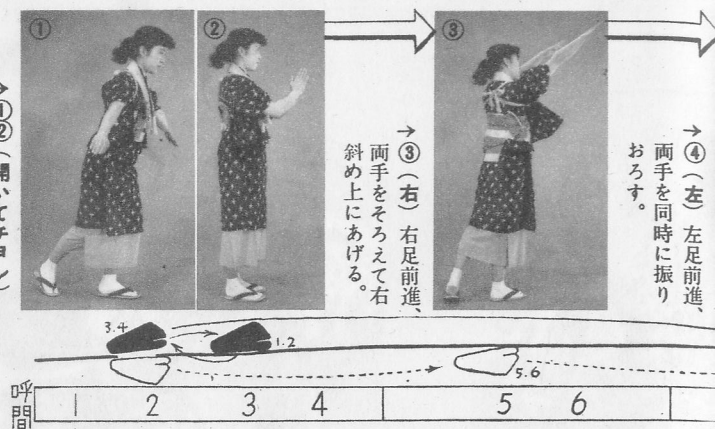
→⑥(左おろす) ④
と同じ動作。

→⑤(右あけて) ③
と同じ動作。

→④(左 左足前進、
両手を同時に振り
おろす。

→③(右 右足前進、
両手をそろえて右
斜め上にあげる。

→①②(開いてチョン)
そのままの向きで左足
踏み込んで両手を胸前
から左右に開き、出し
た左足をもとにもどす。



踊り方
男女自由に一重円をつくり、進行方
向に向かって立ちます。踊りは時計回
りに進みます。
レコード
ビクター・AE一九二は、前奏八呼
間、手拍子で待ち、あとは踊り続けます。
コロンビア・A一四八一是、前奏十
六呼間と間奏八呼間を手拍子で待ち、
唄が始まったら踊ります。
どのレコードでも、曲のどこからで
も、自由に踊り始めることができます。

由来 桜島ダイコンで有名な桜島は、
海をへだてて鹿児島市の東北約四キロ
のところにあります。そして、霧島山
は国立公園に指定され、その美しい姿
を鹿児島島の北方に見せています。
ここに生まれた鹿児島おはら節は、
南国の情熱をひめた、陽気で親しみや
すいメロデーです。簡単で、しかも
手振りの美しい踊りは、全国の人々か
ら愛されています。



踊りの進む方向

数字は写真番号

鹿兒島おはら節



鹿兒島おはら節

花は霧島 煙草は国分
燃えてあがるはオハラハー 桜島

ア、ヨイヨイヨイヤサット
(以下囃子同じ)

見えた見えたよ 松原越しに
丸に十の字のオハラハー 帆が見えた

雨の降らぬのに 草牟田川濁る
伊敷原良のオハラハー 化粧の水

可愛がられて 寝た夜もござる
泣いて明かしたオハラハー 夜もござる

西郷隆盛 おいらの兄貴
国のためなら 死ねと言った

月のヒヨイと出を 夜明けと思うて
様を帰して 気にかかる

炭坑節

月が出た出た月が出た

ヨイヨイ

うちのお山の上に出た

あんまり煙突が高いので

さぞやお月さんけむたかろ

サノヨイヨイ (以下囃子同じ)

一山二山三山越え

奥に咲いたる八重つばき

なんぼ色よく咲いたとて

さまちゃんに通わにや仇の花

お前さき山仕事なら

わたしや選炭音頭とり

苦勞する気とさせる気を

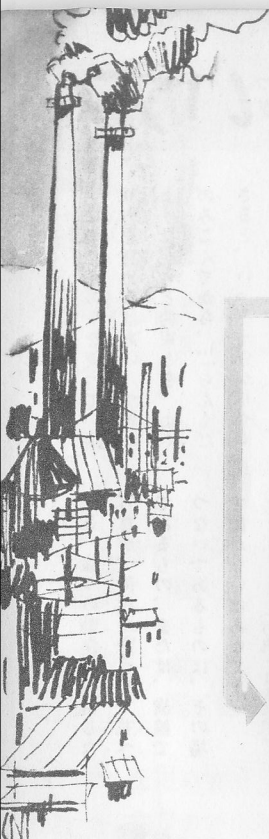
唄でのろけてともかせぎ

この唄は福岡県田川地方の炭坑で、大正四年ごろ、歌いだされ、戦後、新しくレコードに吹きこまれてから、日本中にはやりました。この踊りは、地方地方で、すこしずつ形が変わっていますが、ここに紹介したものはもとも一般的なものなのです。



福岡県

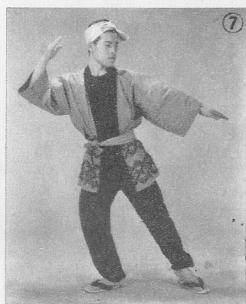
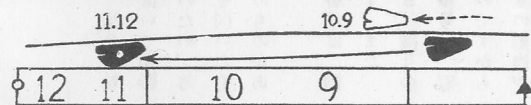




← ⑥ かついで



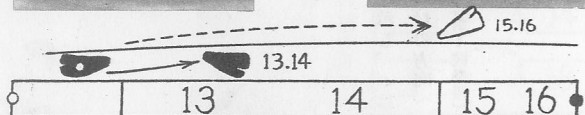
← ⑤ かついで



← ⑦ あと



← ⑧ もどり



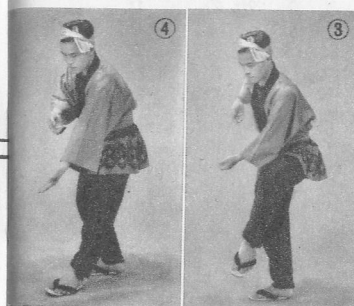
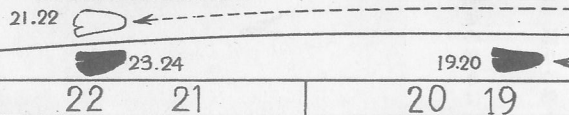
← ⑬ チョチョンがチョン



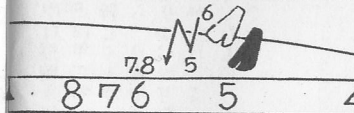
← ⑫ 開いて



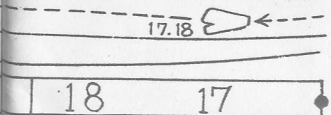
← ⑪ 押して



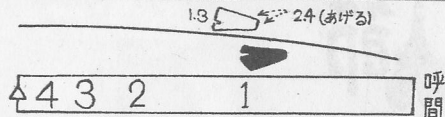
← ③ ④ また掘って



← ⑨ ⑩ 押して



→ ① ② 掘って掘って



踊り方

男女自由に一重円をつくり、進行方向に向いて、両足をそろえて立ちます。反時計回りに踊り進みます。

レコード

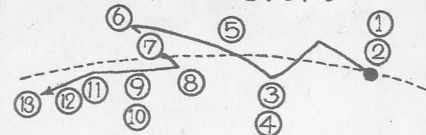
ビクター・V四一五四三、

コロムビア・A四六〇いずれ

も前奏十六呼間は、その場で手拍子を打ちながら待ちます。以下、間奏に関係なく繰り返し踊ります。



踊りの進む方向



数字は写真番号

このテキストの使い方

このテキストを使って、踊り方を覚えるばあい、つぎのような記号と約束とを、よくのみこんでから、ごらんくださると、いつそう分かりやすくなります。

写真

〔1〕どの写真も、踊りの輪の中心にカメラを置いて撮影してあります。そのため、写真によつては、横を向いたものや、うしろ向きものがあるわけです。

〔2〕写真の中の番号は、動作の順序を示します。また、わくでかこんである「踊りの進む方向」の中の番号は、写真の番号と同じものですから写真で示された踊りの動作がどこで踊られているか、その位置を知ることができます。

〔3〕踊りの動作を分解した写真が、何枚か密着して並べてあるもの、または、横線でつないであるものは、その場で動かないばあいです。

(写真・1を参照)

〔4〕踊りの動作を分解した写真が、矢印でつないであるばあいは、足が前か後か、どちらかに一歩動くばあいです。

(写真・2を参照)

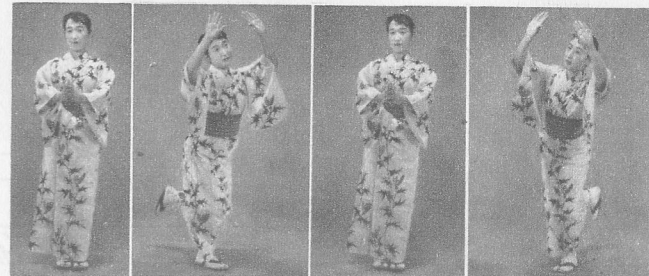
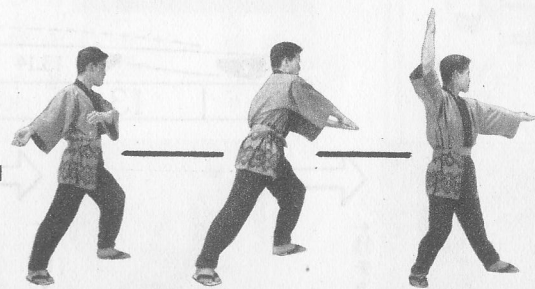
〔5〕写真をつないでいる矢印は、また踊りの進行方向を示します。

→は時計回り、すなわち、時計の針の方向に踊り進むことを示し、←は反時計回りで、時計の針とは反対の方向へ踊り進むことを示します。(第4図参照)

足型

〔1〕足型は第一図で示してある実例によつて、左足、右足の区別に注意してください。

写真・1
い。左足の動きは黒い線で、右足の動きは点線で示してあります。
〔2〕足型のそばにある数字は、踊りの動きの呼間番号です。
〔3〕足の動き方の例は図解で示しましたが



ら、写真と照らしあわせてごらんください。
〔4〕左右の足型の動きの間に、かかれてある黒い線は方向線といい、その上を踊りが進んでいくことを示します。

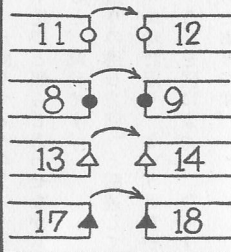
(写真・2・3参照)

呼間

〔1〕呼間とは、曲の進行につれて曲と調子を合わせて、1、2、3、4……と調子を数えることです。呼間欄に示してある数字は、その1、2、3、4……をあらわ

第2図

呼間欄をつなぐばあいの記号

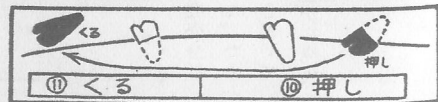


写真・2

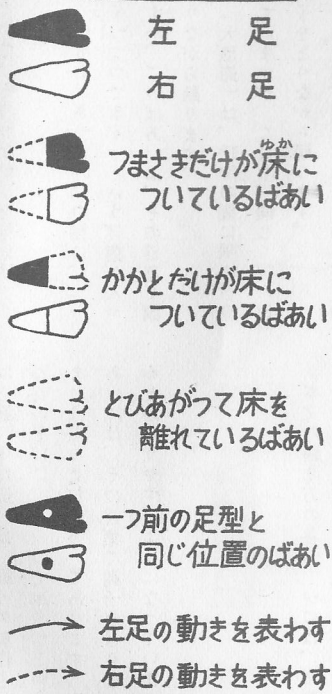


片方の足が動かないばあい

←つま先だけがついているばあい



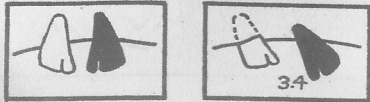
いろいろのばあいの足型



写真・3



←直立のばあい



民謡レコードは

音のよい

ビクター電蓄で



ビクター・テレビ、ラジオ、電蓄、レコード、拡声装置

踊りましょう...唄いましょう...

民謡は全国で大好評の

ビクターレコード



●目で音量を見ながらレコード演奏ができるビクター独特のボリューム・インジケーター付ですから常に正しく美しい音色で楽しめます。

●速度調節器によりレコードのスピードを調節できますので、おどりのけいこなどに大変便利です。

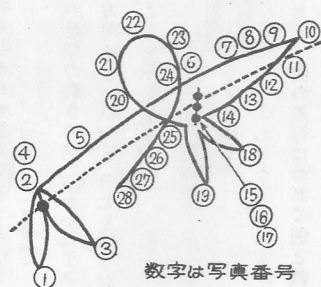
●一般放送はもとより、日本短波・外国放送もきける2バンド・オールウェーブ組込です。

2バンド・オールウェーブ
4スピードラジオ電蓄

RE-317型 ¥24,900
現金正価

他に持運びに便利なポータブル電蓄
PE-7型 ¥14,900よりコンソール
型 ¥265,000まで各種あります。

踊りの進む方向



数字は写真番号

第3図

合印によって、そのつながりを見分けてください。

〔3〕「佐度おけさ」は呼間の欄に、「一つでホイ」「二つでホイ」という言葉が入っていますが、このばあいは、その言葉で調子をとりながら踊ります。

〔4〕「大漁節」は、呼間の欄に唄の言葉が入っていますが、これも、同じく唄の言葉で調子をとりながら踊ります。

〔5〕なお「木曾節」「ソーラン節」「花笠踊り」「金比羅船々」「ひえつき節」「黒田節」お

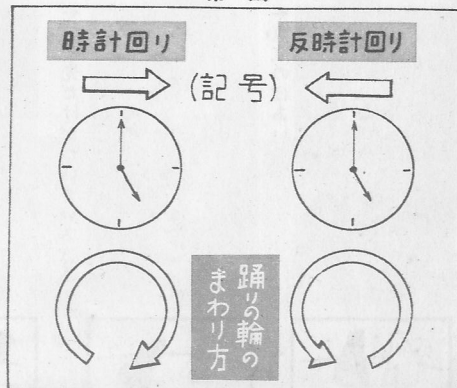
踊りの進む方向

本文の踊り方の各ページには、「踊りの進む方向」という第3図のような図が入っています。

これは、その踊りの進んできた足あとを方向線にそって、つないだものです。踊りによっては、たとえば「佐渡おけさ」のように、途中から、進行方向が変わるものもあります。また「花笠踊り」などのように、方向線の上で、一回りするものもありますから、写真や足型と照らしあわせながら、ごらんになると、便利です。

なお、「踊りの進む方向」と関連して、「時計回り」「反時計回り」という言葉が出てきますが、これを図によって、説明すると、第4図のとおりです。

第4図



レコード番号

おのおのの踊りにはレコードの発売会社名と、レコード番号を紹介しました。たとえば「ビクター・V四一三七七」と書いてあるのは、日本ビクター株式会社から発売されているレコードを意味します。そのレコードを買うときは、曲名とレコード番号を言って求めればよいわけです。